

岐阜城

THE CASTLE OF NOBUNAGA'S DREAM



観覧案内

岐阜城

令和6年4月現在

入場料(岐阜城資料館と共通)		開館時間
大 人(16歳以上)	200円	年中無休 3月16日～10月16日 9:30～17:30 10月17日～ 3月15日 9:30～16:30
小 人(4歳以上16歳未満)	100円	元日のみ 6:30～16:30 ※期間限定で夜間開館あり ※諸事情により時間変更あり
団体割引 …… 30人以上2割引		

- ※次の方は、入場料が無料になりますので、手帳等をご提示ください。
- 1.身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳・指定難病受給者証の交付を受けている方及びその介護者
 - 2.70歳以上の方
 - 3.家庭の日(毎月第3日曜日)に入場する中学生以下の方と同伴する家族の方
 - 4.岐阜市内の中学生以下の方

ぎふ金華山ロープウェー

営業時間及びロープウェー運賃については右記のQRコードをご参照ください。



※駐車台数に限りがありますので、お越しの際はできる限り公共交通機関をご利用ください。

〈お問い合わせ〉

◆岐阜城

TEL (058) 263-4853



◆岐阜市観光案内所

JR岐阜駅2F
TEL (058) 262-4415

◆岐阜観光コンベンション協会ホームページ



発行(公財)岐阜観光コンベンション協会

略年表

時代	年号(年数)	西暦	城主名	備考
鎌倉	建仁年間	1201～1204	二階堂行政 佐藤朝光 伊賀光宗 稲葉光資	鎌倉幕府の軍事目的のため築城と伝えられる。 稲葉氏と改姓、稲葉山城と名付ける。
	正元年間	1259～1260	二階堂行藤	関市周辺に領地をもち、新長谷寺を再興する。
室町	応永年間	1394～1428	斎藤利永	土岐氏の執権で城を修築する。文安2年(1445)加納城に移る。
			斎藤妙椿 (長井新左衛門尉)	応仁の乱で京都へ出陣。歌人としても有名。道三の父親といわれる。
天文年間	1532～1554		斎藤道三	天文8年稲葉山城を修築して入城。 (入城年については諸説あり) 天文23年鷲山城に移る。弘治2年義龍と戦い死去。
天文23年	1554		斎藤義龍	永禄4年5月病死する。(34歳)
永禄4年	1561		斎藤龍興 (竹中重治)	若年で跡を継ぐが、永禄7年2月竹中半兵衛重治によって一時占拠される。永禄10年8月織田信長に攻められ開城。木下藤吉郎功名する。
永禄10年	1567		織田信長	尾張小牧から稲葉山城(のちの岐阜城)へ移り楽市楽座を保護するなど城下町岐阜の発展をはかる。天正4年には安土城に移り、天正10年本能寺の変で自害する。
安土	天正4年	1576	織田信忠	父信長の跡を継いで、岐阜の繁栄につくす。本能寺の変で二条城において明智光秀に攻められ戦死する。
	天正10年	1582	織田信孝	信長の三男で伊勢神戸城から移り、天正11年秀吉に攻められ開城する。
	天正11年	1583	池田元助	天正12年小牧長久手の合戦で戦死する。
桃山	天正13年	1585	池田輝政	天正18年9月三河吉田城に移り、後に姫路城主となる。
	天正19年	1591	豊臣秀勝	秀吉の養子で羽柴姓を名乗り、文禄元年朝鮮に出陣し、唐島(巨濟島)で病死する。
	文禄元年	1592	織田秀信	安土城から移る。慶長5年8月徳川軍に攻められ開城。慶長10年5月死去。(26歳)
	慶長6年	1601		廃城となる。天守閣、櫓、石垣等を加納城へ移す。
江戸				城郭なし。
明治	明治43年	1910		模擬城建設。昭和18年2月焼失。
昭和	昭和31年	1956		現在の天守閣再建。
平成	平成9年	1997		再建以来初の大改修。
	平成13年	2001		築城800年を迎える。
	平成23年	2011		金華山一帯が「岐阜城跡」として、国の史跡に指定される。
	平成29年	2017		信長公450プロジェクト (織田信長公岐阜入城・岐阜命名450年事業)を実施

信長公・道三公ゆかりの城

岐阜城は、かつて稲葉山城と称していました。金華山頂にはじめて砦を築いたのは、鎌倉幕府の執事二階堂山城守行政と伝えられています。戦国時代には、斎藤道三の居城でもあったところです。特に岐阜城の名を天下に示したのは、永禄十年（一五六七年）（一説に永禄七年）八月、不世出の英傑織田信長がこの城を攻略し、この地方一帯を平定するとともに、地名も「井口」を「岐阜」と改称し、天下統の一の本拠地としてからでした。しかし、慶長五年（一六〇〇年）八月、関ヶ原合戦の前哨戦の際、信長の孫秀信が西軍に味方したため、東軍に攻め入れ、激戦の末落城しました。翌慶長六年、岐阜城は廢城となり、天守閣、櫓等は加納城に移されました。現在の城は、昭和三十一年七月、岐阜城再建期成同盟によつて復興されたもので、鉄筋コンクリート造り、三層四階構造で延べ四六・七七㎡、棟高七・七mの威容を誇ります。

平成二十三年二月、金華山一帯が「岐阜城跡」として、国の史跡に指定されました。



岐阜城から長良川を望む

岐阜城パノラマ夜景(期間限定)



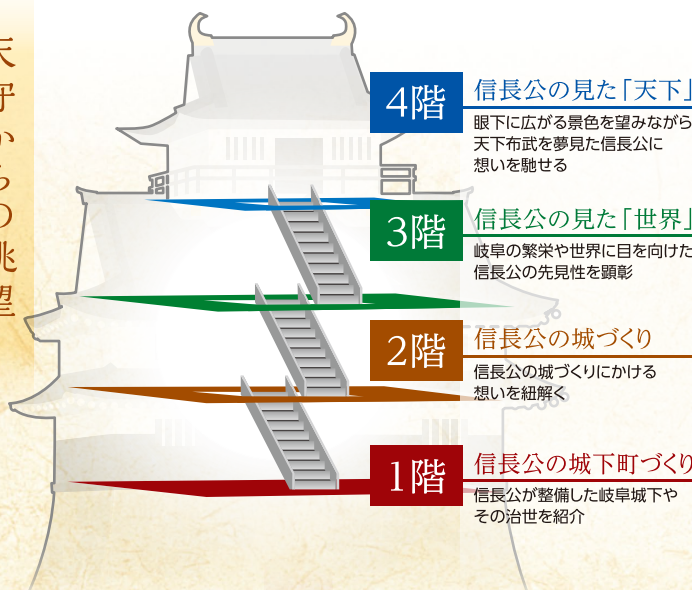
西側(長良川方面)

岐阜城は現在築城されている城郭のうちでは、有数の高さ（標高三一九m）にあります。

最上階からは、眼下に鶺鴒飼で有名な清流長良川が市内を貫流し、東には恵那山、本曾御岳山が雄大な姿を見せ、北には乗鞍、日本アルプスが連なっています。また西には伊吹、養老、鈴鹿の山系が連なり、南には濃尾の太平洋が豊かに開け、本曾の流れが悠然と伊勢湾に注いでいるさまを一望におさめることができます。かつてここで信長も天下を見晴らしたように壮大な眺望を楽しむことができます。また、岐阜城では夜景を楽しむことができます。期間限定で開館時間

を延長しています。

天守からの眺望



各階のご案内

4階

信長公の見た「天下」

3階

信長公の見た「世界」
岐阜の繁栄や世界に目を向けた
信長公の先見性を顕彰

2階

信長公の城づくり
信長公の城づくりにかける
想いを紐解く

1 階

信長公の城下町づくり
信長公が整備した岐阜城下や
その治世を紹介

岐阜城資料館



齋藤道三公

設けました。当時の岐阜の町の様子をボルトガルの宣教師ルイス・フロイスは「バビロンの賑わいのようであった」と述べています。天正四年（一五七六年）岐阜城を長男信忠にゆずり、自らは安土城へ移りました。天正十年（一五八二年）本能寺の変で倒れました。



織田信長公
(崇福寺所蔵)

天文三年（一五三四年）尾張の織田

岐阜城のすぐ東に岐阜城資料館があります。昭和五十年四月に昔の武器庫、食糧庫を隅櫓城郭造りに復元したものです。



日本遺産

文化財を活用し、観光振興や地域活性化を図ることを目的に、文化庁が平成二十七年
度から創設した制度です。地域に根付き
世代を超えて受け継がれている歴史的魅力
にあふれた文化財群をまとめたストーリー
を「日本遺産」として認定するもので、岐阜
市はその第二号に認定されました。

ストーリーの概要

戦国時代、岐阜城を拠点に天下統一を目指した織田信長。彼は戦いを進める一方、城内に「地上の楽園」と称される宮殿を建設、軍施設である城に「魅せる」という獨創性を加え、城下帯を最高のおもてなし空間としてまとめあげる。自然景観を活かした城内外の眺望や長良川での鵜飼観覧による接待。冷徹なイメージを覆すような信長のおもてなしは、宣教師ルイス・フロイスら世界の賓客をも魅了した。信長が形作った城・町・川文化は城としての役割を終えた後も受け継がれ、現在の岐阜の町に息づいている。



日本遺産

